



戦争はどのようにして終わったのでしょうか。

戦争はどのように終わったのか？写真資料に合わせた文書を読み、()の中の適切な言葉に、○を付けましょう。



1945年以降、沖縄は海から空から激しく攻撃されるようになりました。アメリカ軍との戦いでは、一般の市民や、今の中学生や高校生くらいの生徒まで戦いました。地上戦が始まると、200人以上の女子生徒（ひめゆり学徒隊・ひまわり応援隊）も動員されました。全国の都市が空襲で焼かれて、多くの人々が死傷し、さらに（北海道・沖縄）も占領されました。



1945年8月6日に（東京・広島）、9日には長崎に、アメリカ軍によって原子爆弾が投下され、この原子爆弾で一瞬にして何万人もの命が奪われ街は吹き飛んでしまいました。また、ソ連軍が互いに戦わないという条約を8月8日に破り、満州に攻め込み、やがて北海道の樺太南部、千島列島にも攻め込んできました。



8月15日、日本がついに降伏し、（15年・5年）にもわたる戦争がようやく終わりました。